

平成 26 年度公認スポーツプログラマー養成講習会

受講の手引き

主 催 公益財団法人 日本体育協会
公益財団法人 日本体育施設協会
後 援 文 部 科 学 省 (予 定)
独立行政法人 日本スポーツ振興センター

SPORTS
JASA OFFICIAL LICENSE

平成 26 年度 公認スポーツプログラマー養成講習会 開 催 要 項

1. 目 的

フィットネスの維持や向上についての専門的な知識と技能を持ち、個々人に適した身体づくりの実技指導と活動プログラムの提供ができる指導者の養成を目的とし実施する。

2. 役 割

主として青年期以降のすべての人に対し、地域スポーツクラブなどにおいて、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行う。

3. 主 催 公益財団法人 日本体育協会
公益財団法人 日本体育施設協会

4. 後 援 文部科学省（予定）
独立行政法人 日本スポーツ振興センター

5. 講習期日及び会場

1) 共通科目

- ① 共通科目Ⅰ／集合講習（14 時間）及び自宅学習（21 時間）
② 共通科目Ⅱ／集合講習（14 時間）及び自宅学習（21 時間）

< 共通Ⅰ＋Ⅱ集合講習会場 >

日本体育大学 世田谷キャンパス

〒158-8508 東京都世田谷区深沢 7-1-1 TEL03-5706-0900

平成 26 年 8 月 7 日（木）～10 日（日）4 日間

※共通科目Ⅰ免除者は 9 日（土）～10 日（日）の講義を受講。

< 共通Ⅰ＋Ⅱ検定試験 >

国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1 TEL 03-3469-2525

平成 27 年 1 月 23 日（金）

2) 専門科目／集合講習（63 時間）

< 集合講習会場 >

国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1 TEL 03-3469-2525

前期／平成 26 年 9 月 16 日（火）～19 日（金）4 日間

後期／平成 27 年 1 月 19 日（月）～23 日（金）5 日間

※後期講習会最終日に共通科目および専門科目検定試験を実施。

6. 受講条件 受講する年の4月1日現在、満20歳以上の者。

7. 受講定員 200名

8. 受講申込み

所定の受講申込書に必要事項記入のうえ、日本体育協会に直接申し込んで下さい。

なお、共通科目において講習・試験の免除を希望される方は、免除証明書類の写しを1部添付すること。

<申込先>

公益財団法人 日本体育協会 スポーツ指導者育成部 TEL 03-3481-2226

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内

9. 申込み受付期間

平成26年4月21日(月)～5月16日(金)(定員になり次第締切)

10. 受講者の決定

書類審査の上、6月上旬に受講者を決定し、本人宛に通知する。

また、併せて諸経費の納入方法等を通知し、諸経費納入者に対して、共通科目Ⅰ・Ⅱテキストおよびワークブックを送付する。

11. 資格検定試験・審査

共通科目、専門科目ともに専門科目後期集合講習会の最終日に実施する。

共通科目検定試験は筆記試験とし、日本体育協会指導者育成専門委員会において審査を行う。

専門科目検定試験は筆記試験とし、日本体育施設協会体育指導者審査養成委員会において審査の上、総合判定を両団体審査会にて行う。

- 1) 資格検定試験は、講習を全て履修した者のみ受験できる。
- 2) 共通科目、専門科目いずれの検定試験に合格し総合判定審査会を通った者を「公認スポーツプログラマー養成講習会」修了者として認める。
- 3) 不合格者(未修了者)及び講習会未受講者には、次年度開催の講習会及び検定試験の案内を送付する。

12. 認定及び登録

- 1) 公認スポーツプログラマー講習会修了者に修了通知を送付する。その後、指導者登録を完了した者を、平成27年10月1日付で公認スポーツプログラマーに認定し「認定証」及び「登録証」を交付する。
- 2) 資格の有効期限は、4年間とし4年毎に更新する。ただし、認定される資格以外に日本体育協会公認スポーツ指導者資格を有している場合は、その登録有効期限までとする(スポーツリーダーは除く)。
- 3) 本資格を更新しようとする者は、資格有効期限の6ヶ月前までに、日本体育協会及び日本体育施設協会が定める研修を受けなければならない。

13. 経 費

1) 受講料（検定料を含む）

① 共通科目： **21,600円**（税込み）

（注）◎共通科目Ⅰ免除者は **17,280円**（税込み）

◎共通科目全免除者は不要

② 専門科目： **54,000円**（税込み）

（注）◎健康運動指導士有資格者は **25,700円**（税込み）

〔（注）共通科目・専門科目講習会参加のための旅費、宿泊費については別途自己負担となります。〕

2) 登録料 **23,000円**（4年間）

<内訳> 日本体育協会登録料 **13,000円**（初回）

※ただし、更新時からは **10,000円**とする。

日本体育施設協会登録料 **10,000円**

※ただし、他資格で日本体育協会公認スポーツ指導者として既に登録済みで有効期限のある場合は、残りの有効期間に応じて案分された「資格別登録料」および「初期登録手数料（3,000円）」が必要となる。

14. 講習・試験の免除

1) 下記有資格者は、共通科目を全て免除する。

① 日本オリンピック委員会（JOC）ナショナルコーチアカデミー修了者

② 日本体育協会公認教師・上級教師

③ // コーチ・上級コーチ

④ // 上級指導員

⑤ // フィットネストレーナー（SP2種）

⑥ // アスレティックトレーナー

⑦ // スポーツ栄養士

⑧ 日本レクリエーション協会公認レクリエーションコーディネーター（H12年度以前取得者）

2) 下記有資格者は、共通科目Ⅰを免除する。

① 日本体育協会公認スポーツリーダー

② // 指導員

③ // ジュニアスポーツ指導員

④ // アシスタントマネジャー

⑤ // クラブマネジャー

⑥ 日本レクリエーション協会公認レクリエーションコーディネーター（H13年度以降取得者）

⑦ 野外活動指導者（ディレクター1級）

⑧ 日本スポーツ少年団認定員

- 3) 体育系大学・短期大学及び社会体育系専門学校における免除適応コース履修者は、日本体育協会が発行した共通科目修了証明書により、共通科目を免除する。また、一部の免除適応コース承認校を卒業した者については、共通科目Ⅰを免除する（詳細については日本体育協会 HP にて確認）。
- 4) 健康運動指導士有資格者は、共通科目Ⅰ・Ⅱの講習・試験を全て免除し、専門科目についてはⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅵのカリキュラムを免除する。（専門科目Ⅴのみ履修）
ただし、専門科目の検定試験は、専門科目カリキュラムのすべてを受験しなければならない。

15. その他

- 1) 受講有効期限は、申込み年度を含め4年間とする。期限内に全て修了できなかった場合は、履修した科目は全て無効となるため、注意すること。
- 2) 本講習会の受講有効期限内に他の日本体育協会公認資格の受講はできないため、注意すること。

◎本講習会に対する問合せ先

<共通科目> 公益財団法人 日本体育協会 スポーツ指導者育成部

TEL 03-3481-2226 Fax 03-3481-2284

問合せ時間：平日 9：30～17：30（12：00～13：00を除く）

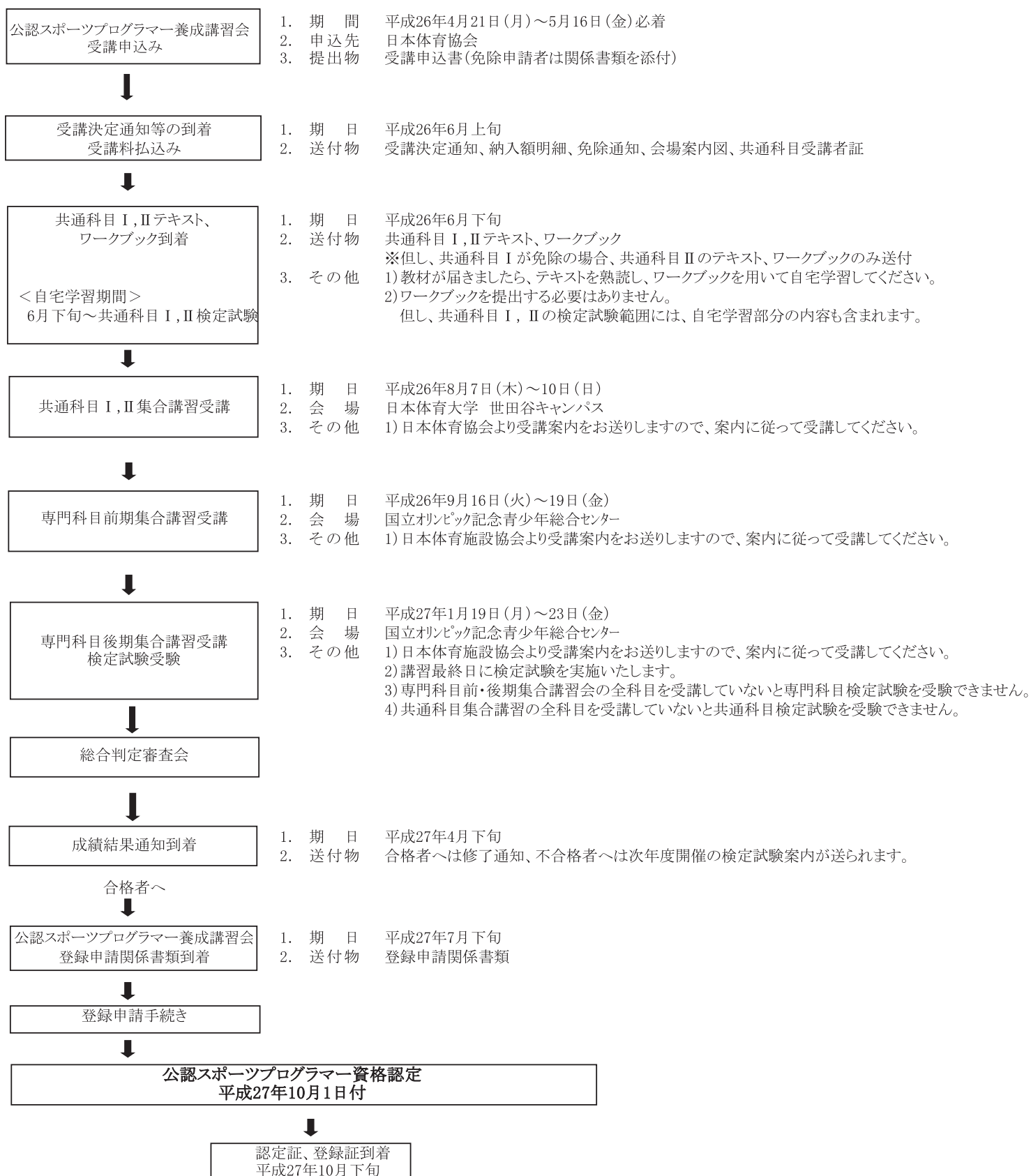
<専門科目> 公益財団法人 日本体育施設協会 事業部

TEL 03-5972-1983 Fax 03-5972-4106

問合せ時間：平日 9：00～17：00

※本講習会に際し取得した個人情報は、本講習会の受講管理および諸連絡以外には使用いたしません。

“受講申込みから資格取得まで”の流れ



共通科目カリキュラム

| 区分 | 科目名 | 内容 | 時間数 | | |
|--------|--------------------|--|-----|------|------|
| | | | 集合 | 自宅学習 | |
| 共通科目 I | 文化としてのスポーツ | スポーツの概念と歴史 文化としてのスポーツ | 1.5 | 2.25 | 3.75 |
| | 指導者の役割 I | スポーツ指導者とは スポーツ指導者の倫理 指導者の心構え・視点 世界の舞台をめざすアスリートの発掘・育成の重要性と指導者の役割 | 2 | 3 | 5 |
| | トレーニング論 I | 体力とは トレーニングの進め方 トレーニングの種類 | 1.5 | 2.25 | 3.75 |
| | スポーツ指導者に必要な医学的知識 I | スポーツと健康 スポーツ活動中に多いケガや病気の救急処置 | 3 | 4.5 | 7.5 |
| | スポーツと栄養 | スポーツと栄養 | 1 | 1.5 | 2.5 |
| | 指導計画と安全管理 | 指導計画の立て方 スポーツ活動と安全管理 | 1.5 | 2.25 | 3.75 |
| | ジュニア期のスポーツ | 発育発達期の身体的特徴、心理的特徴 発育発達期に多いケガや病気 発育発達期のプログラム | 2 | 3 | 5 |
| | 地域におけるスポーツ振興 | 地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわり 総合型地域スポーツクラブの必要性と社会的意義 地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」 | 1.5 | 2.25 | 3.75 |
| | | | 14 | 21 | 35 |

| 区分 | 科目名 | 内容 | 時間数 | | |
|---------|---------------|--|-----|------|-----|
| | | | 集合 | 自宅学習 | |
| 共通科目 II | 社会の中のスポーツ | 社会の中のスポーツ 我が国のスポーツプロモーション | 2 | 3 | 5 |
| | スポーツと法 | スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 スポーツと人権 | 2 | 3 | 5 |
| | スポーツの心理 I | スポーツと心 スポーツにおける動機づけ コーチングの心理 | 3 | 4.5 | 7.5 |
| | スポーツ組織の運営と事業 | 総合型地域スポーツクラブの育成と運営 スポーツ組織のマネジメントと事業のマーケティング スポーツ事業のプロモーション | 4 | 6 | 10 |
| | 対象に合わせたスポーツ指導 | 中高年者とスポーツ 女性とスポーツ 障害者とスポーツ | 3 | 4.5 | 7.5 |
| | | | 14 | 21 | 35 |

専門科目カリキュラム

| 科目名 | 内 容 | 時間数 |
|----------------------------|-----------------------|-----|
| | | 集合 |
| I 運動と健康 | 1. 運動と健康 | 1 |
| | 2. スポーツプログラマーの役割 | |
| II フィットネス・エクササイズ の理論と実際 | 1. フィットネス・トレーニング | 10 |
| | ① 全身持久力・身体組織系 | |
| | ② 筋力/筋持久力系 | |
| | ③ 柔軟性系 | |
| | ④ 調整力系 | |
| | 2. マシーントレーニング | 4 |
| | ① マシーンの特性 | |
| | ② マシーントレーニングの実際 | |
| | 3. ヘルス・エクササイズ | 12 |
| | ① 体操系 | |
| | ア. 体操 | |
| | イ. ストレッチング | |
| | ② エアロビクス系 | |
| ア. ウォーキング・ジョギング | | |
| イ. 水泳・水中運動 | | |
| ウ. エアロビックダンス | | |
| ③ レクリエーション・スポーツ系 | | |
| ア. 軽スポーツ | | |
| イ. 運動ゲーム | | |
| III フィットネス・エクササイズと 健康管理 | 1. フィットネス・エクササイズと体調 | 3 |
| | ① 体調チェックの意義と方法 | |
| | ② スポーツと疲労回復（栄養と休養） | |
| | 2. フィットネス・エクササイズと安全 | 5 |
| ① ウォーミングアップ、 | | |
| ② クーリングダウン | | |
| IV 体力測定と評価 | 1. 体力測定の方法 | 6 |
| | 2. 測定結果の処理 | |
| | 3. 体力評価とスポーツプログラム | |
| V フィットネスプログラムの実際 | 1. フィットネスプログラムの基本的な方法 | 16 |
| | 2. 子どものフィットネスプログラム | |
| | 3. 壮年（中年）のフィットネスプログラム | |
| | 4. 高齢者のフィットネスプログラム | |
| | 5. 女性のフィットネスプログラム | |
| | 6. 障害者のフィットネスプログラム | |
| | 7. 上記2～6から選択科目 | |
| VI スポーツ相談の実際 | 1. スポーツ相談の意義 | 6 |
| | 2. スポーツ相談の実際 | |
| | | 63 |

平成26年度公認スポーツプログラマー養成講習会日程表（共通科目）

公益財団法人 日本体育協会

| 期日 | 会場 | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 | 19:00 | 19:30 |
|-----------------------|---------------------|------|-------|-------|-------|-------|--|---|---|---|-------|-------|-------|
| 平成26年 8月7日 (木) | | | | | 受付 | | 〈オリエンテーション〉 | 指導者の役割 I (2 h) ・スポーツ指導者とは ・指導者の心構え・視点 ・世界の舞台をめざすアスリートの発掘・育成の重要性と指導者の役割 | 文化としてのスポーツ (1.5 h) ・スポーツの概念と歴史 ・文化としてのスポーツ | 地域におけるスポーツ振興 (1.5 h) ・地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわり ・総合型地域スポーツクラブの必要性と社会的意義 ・地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」 | | | |
| | | | | | | | スポーツと栄養 (1 h) ・スポーツと栄養 | ジュニア期のスポーツ (2 h) ・発育発達期の身体的特徴、心理的特長 ・発育発達期に多いケガや病気の発育発達期のプログラム | トレーニング論 I (1.5 h) ・体力とは ・トレーニングの進め方 ・トレーニングの種類 | 指導計画と安全管理 (1.5 h) ・指導計画のたて方 ・スポーツ活動と安全管理 | | | |
| 平成26年 8月8日 (金) | 日本体育大学 世田谷キャンパス | | | | 休憩 | | スポーツ組織の運営と事業 (4 h) ・総合型地域スポーツクラブの育成と運営 ・スポーツ組織のマネジメントと事業のマーケティング ・スポーツ事業のアプロモーション | | | | | | |
| | | | | | | | スポーツの心理 I (3 h) ・スポーツと心 ・スポーツにおける動機づけ ・コーチングの心理 | | | | | | |
| 平成26年 8月9日 (土) | | | | | 休憩 | | | | | | | | |
| | | | | | | | 対象に合わせたスポーツ指導 (3 h) ・中高年者とスポーツ ・女性とスポーツ ・障害者とスポーツ | | | | | | |
| 平成26年 8月10日 (日) | | | | | 休憩 | | 社会の中のスポーツ (2 h) ・社会の中のスポーツ ・我が国のスポーツプロモーション | | スポーツと法 (2 h) ・スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 ・スポーツと人権 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 平成27年 1月23日 (金) | 国立オリンピック記念青少年総合センター | | | | 休憩 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

※共通科目 I 免除者は8月7日・8日が免除となります。
 ※基本日程は、諸事情により変更の可能性がありますので予めご了承ください。

－受講申込書記入上の注意－

- ① 下記の記入例を参考に、必要事項を楷書ではっきりとご記入ください。
- ② 必ず捺印をしてください。※捺印もれの申込書は受理いたしません。
- ③ 共通科目の免除を申請する場合は、該当する資格名等のNo.に○印を付け、免除証明書類の写しを添付してください。
なお、小・中学校、高校、大学の教員免許状では免除申請はできませんのでご注意ください。



記入例

公益財団法人 日本体育協会 御中
公益財団法人 日本体育施設協会 御中

必ず捺印をして
ください。

開催要項の内容を了承し、下記の通り申し込みます。

平成26年 4月 21日

| 平成26年度公認スポーツプログラマー養成講習会受講申込書 | | | |
|------------------------------|--|--|---|
| フリガナ | タイキョウ ハナコ | 生年 月日 | 西暦 1980年8月8日 <small>(平成26年4月1日現在 満 33歳)</small> |
| 氏名 | 体協 花子  | 男 女 | ※受付番号 |
| 住所 | 〒150-8050 東京都新宿区霞ヶ丘町10-2 <small>(携帯電話mail: taikyoutai@japan-sports.or.jp)</small> <small>(携帯Tel 012-3456-7890) Tel 03-3401-7976</small> | | 写真貼付 3ヶ月以内に 撮影したもの 4cm×3cm 上半身 |
| 勤務先 | 名称 | 公益財団法人 日本体育協会 | |
| | 所在地 | 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 Tel 03-3481-2226 | |
| 免除申請の有無 | する <input checked="" type="radio"/> ・ しない <input type="radio"/> | | ※裏面に氏名を 記入のこと。 |
| No. | *免除申請をする場合は下記対象資格のNo.に○印をつけてください。 | | |
| | 資格名 | | |
| 1 | 日本オリンピック委員会(JOC)ナショナルコーチアカデミー修了者 | | |
| 2 | 日本体育協会公認スポーツリーダー | | |
| 3 | " 指導員・上級指導員  | | |
| 4 | " コーチ・上級コーチ | | |
| 5 | " 教師・上級教師 | | |
| 6 | " フィットネストレーナー(SP2種) | | |
| 7 | " アスレティックトレーナー | | |
| 8 | " ジュニアスポーツ指導員 | | |
| 9 | " アシスタントマネジャー | | |
| 10 | " クラブマネジャー | | |
| 11 | " スポーツ栄養士 | | |
| 12 | レクリエーションコーディネーター | | |
| 13 | 健康運動指導士 | | |
| 14 | 野外活動指導者(ディレクター1級) | | |
| 15 | 日本体育協会免除適応コース共通科目修了証明書取得者・一部の免除適応コース承認校を卒業 | | |
| 16 | 日本スポーツ少年団認定員 | | |

申請の有無に
○印をつけて
ください。

申請する場合は必ず
証明できる登録証等
のコピーを1部添付し
てください。

3,4,5に○印をつけた場
合は、資格名にも○印
をつけてください。

- (注) ①※受付番号は記入しないでください。
②今後本会より緊急のご連絡をする場合がありますので、携帯電話番号は必ずご記入ください。
③携帯電話mailについては、講習会や検定試験開催期間中などにおいて、災害等発生の際携帯電話の通話ができなくなった場合等に連絡するためのものであり、通常の連絡で使用することはありません。

公益財団法人 日本体育協会 御中
 公益財団法人 日本体育施設協会 御中

開催要項の内容を了承し、下記の通り申し込みます。

平成26年 月 日

平成26年度公認スポーツプログラマー養成講習会受講申込書

| | | | | | | |
|---------|---|-----|---|----|----------|---|
| フリガナ | | | 生 | 西暦 | | ※受付番号 |
| 氏名 | 男 女 | 年月日 | 年 | 月 | 日 | |
| 住所 | 〒 (携帯電話mail: (携帯Tel. - -) Tel. - -) | | | | | 写真貼付 3ヶ月以内に 撮影したもの 4cm×3cm 上半身 ※裏面に氏名を 記入のこと。 |
| 勤務先 | 名称 | 〒 | | | Tel. - - | |
| 免除申請の有無 | する ・ しない *免除申請をする場合は下記対象資格のNo.に○印をつけ、必ず免除証明書類の写しを添付すること。 | | | | | |
| No. | 資格名 | | | | | |
| 1 | 日本オリンピック委員会(JOC)ナショナルコーチアカデミー修了者 | | | | | |
| 2 | 日本体育協会公認スポーツリーダー | | | | | |
| 3 | " 指導員・上級指導員 | | | | | |
| 4 | " コーチ・上級コーチ | | | | | |
| 5 | " 教師・上級教師 | | | | | |
| 6 | " フィットネストレーナー(SP2種) | | | | | |
| 7 | " アスレティックトレーナー | | | | | |
| 8 | " ジュニアスポーツ指導員 | | | | | |
| 9 | " アシスタントマネジャー | | | | | |
| 10 | " クラブマネジャー | | | | | |
| 11 | " スポーツ栄養士 | | | | | |
| 12 | レクリエーションコーディネーター | | | | | |
| 13 | 健康運動指導士 | | | | | |
| 14 | 野外活動指導者(ディレクター1級) | | | | | |
| 15 | 日本体育協会免除適応コース共通科目修了証明書取得者・一部の免除適応コース承認校を卒業 | | | | | |
| 16 | 日本スポーツ少年団認定員 | | | | | |

(注) ①※受付番号は記入しないでください。

②今後本会より緊急のご連絡をする場合がありますので、携帯電話番号は必ずご記入ください。

③携帯電話mailについては、講習会や検定試験開催期間中などにおいて、災害等発生の際携帯電話の通話ができなくなった場合等に連絡するためのものであり、通常の連絡で使用することはありません。

き
り
と
り
せ
ん

SPORTS
for all

